

DOJIN

R18

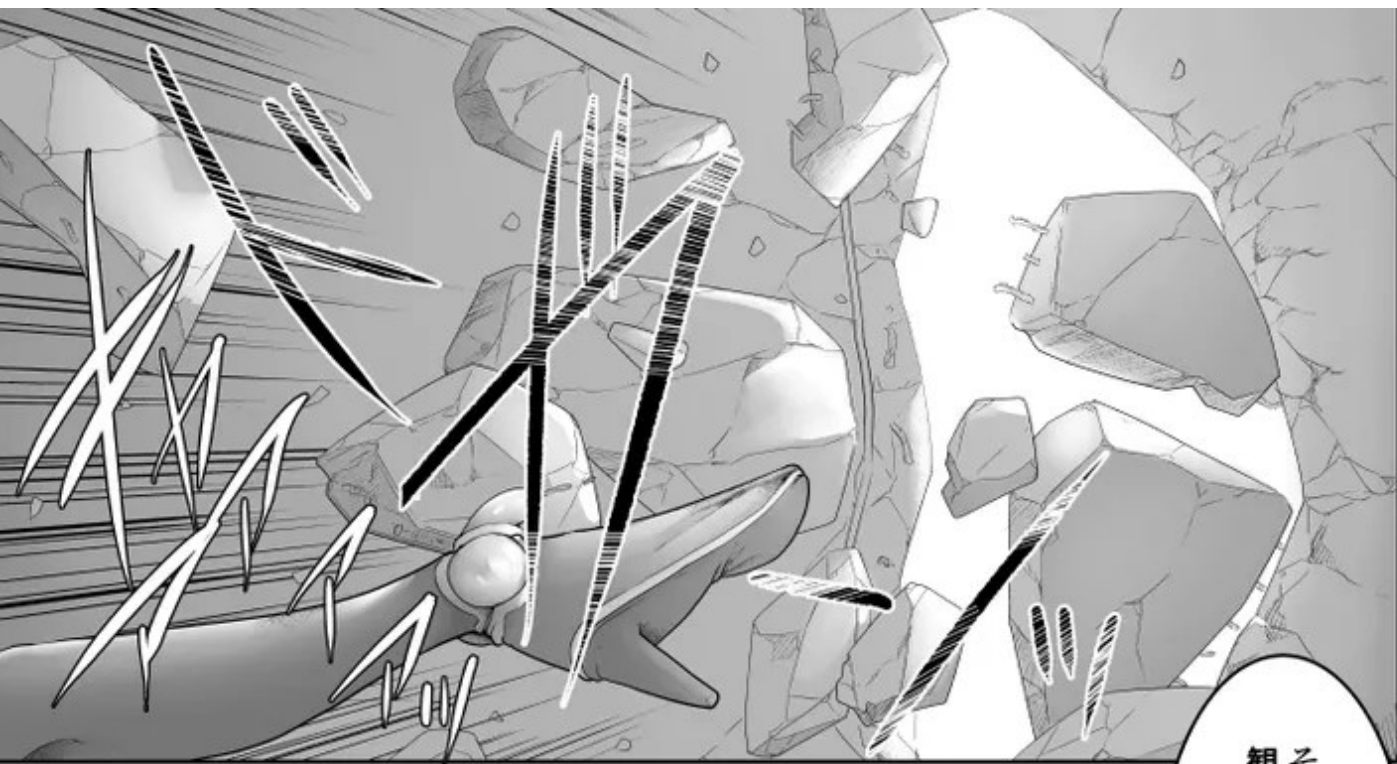
成人向け

戦隊ヒーロー
快楽墮ち

計画

モノクロイド
Monochroid





そろそろ…
観念したらどうだ



貴様に……
勝ち目はない



怪人「蛸粘人」
スライムワーパー



やっと
分断できたわね…

いいわ…降参する
その代わり
一つお願い聞いてよ



命乞いか？

違うわよ…
死ぬ前に
したいことがあるの…

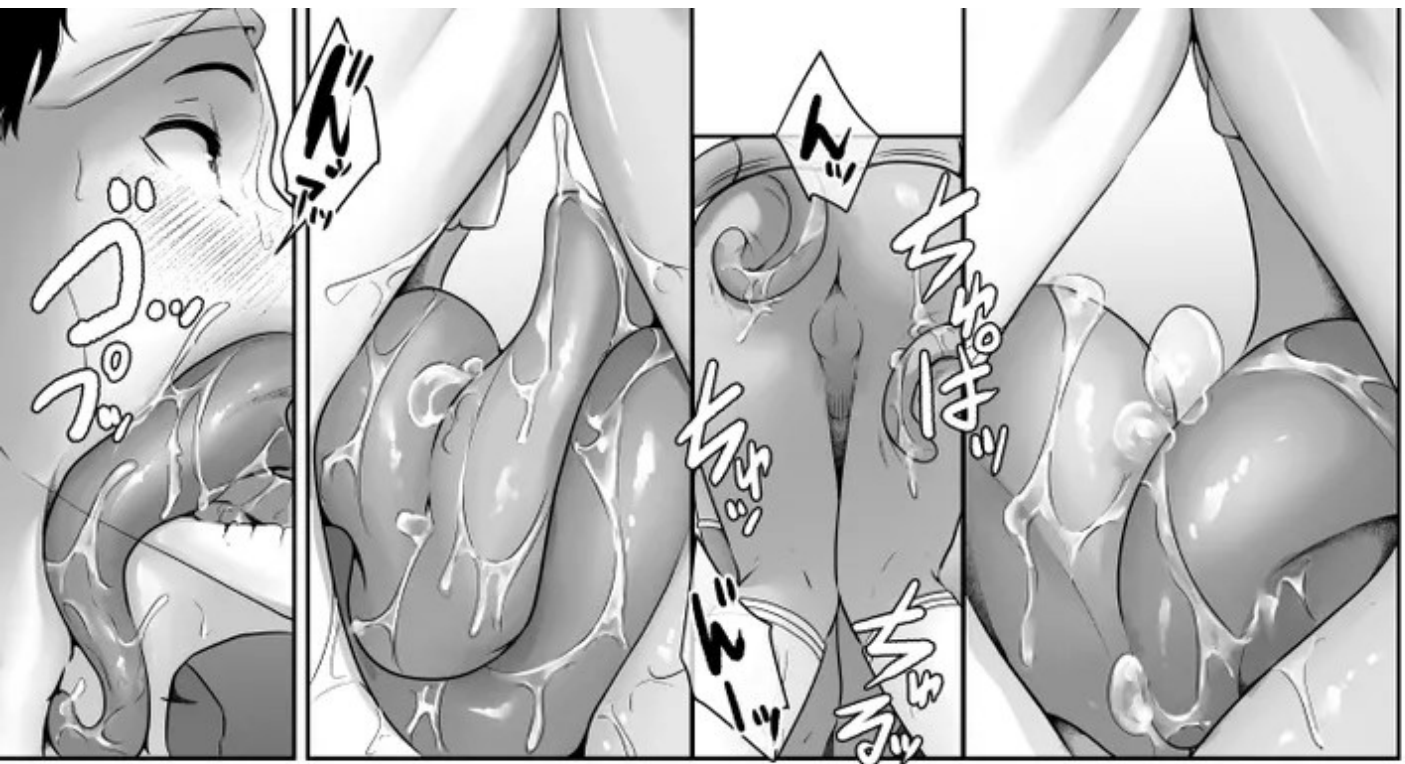
……何だ？



SEXをしてみたいの









ずっと
されたかったん
でしょう？

ふ、振り？

そんなに怒ってる振り
しなくても
いいんじゃない？



貴方の怪人を見る目線に
気が付かないとでも思った？

みらん
あなたと
やりたがってたわよ

へっ…



駄目だッ…よせッ

こんなこと
受け入れてはッ



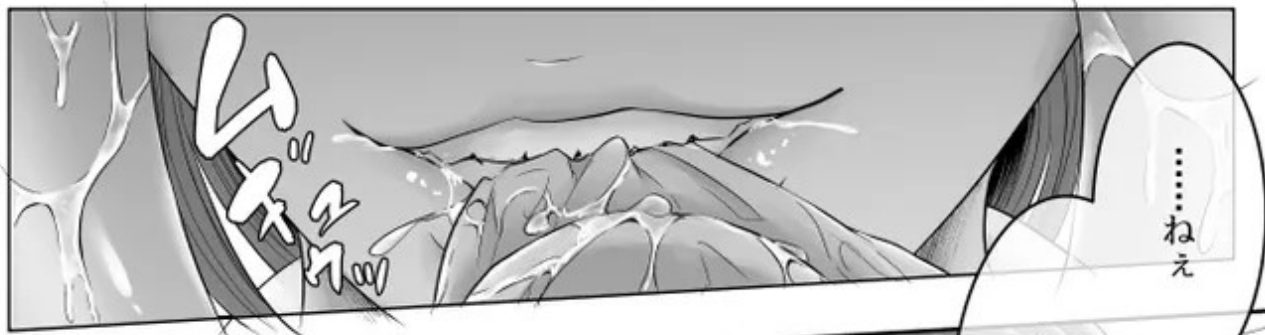
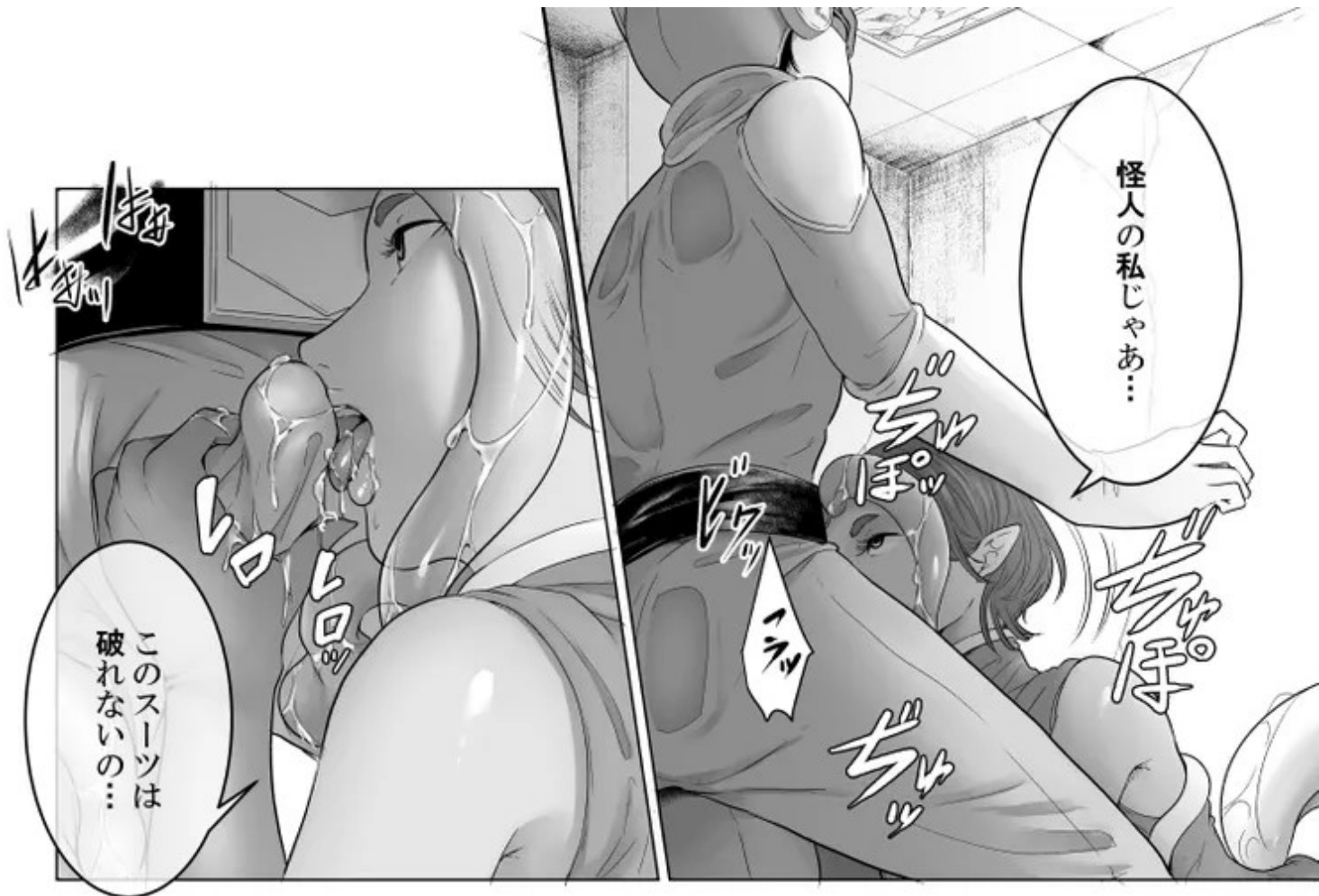
はっ

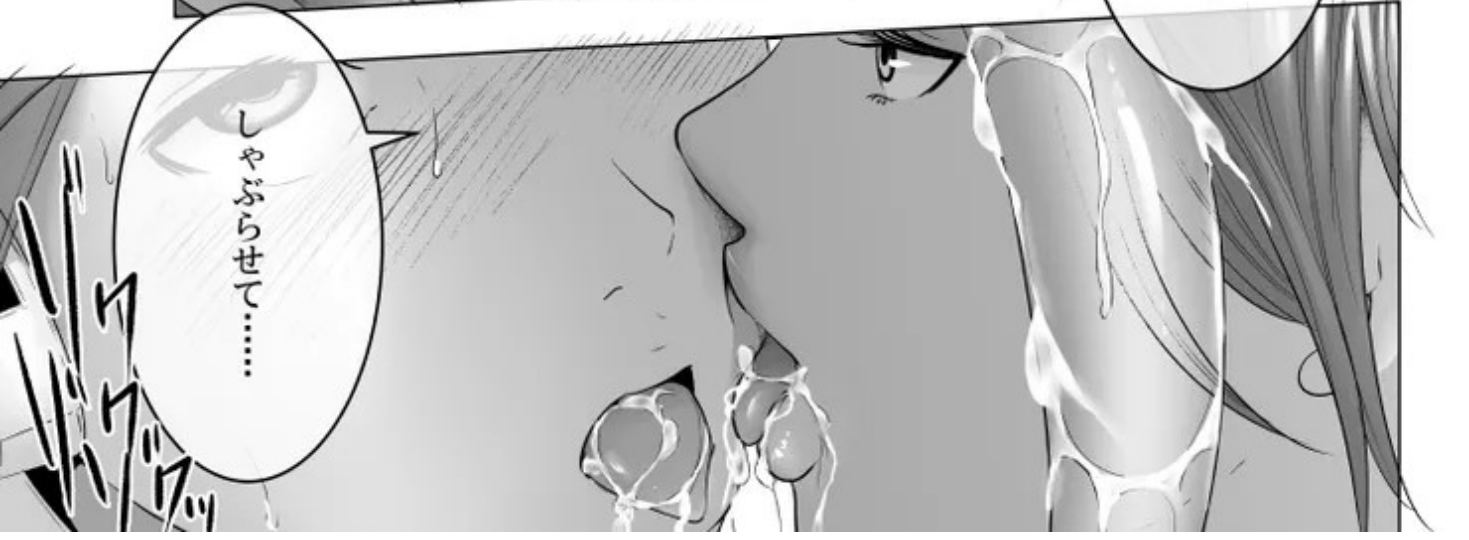
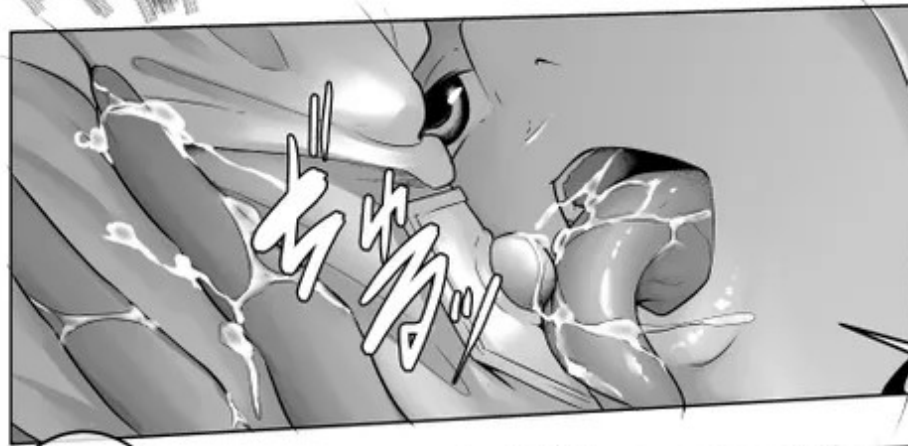
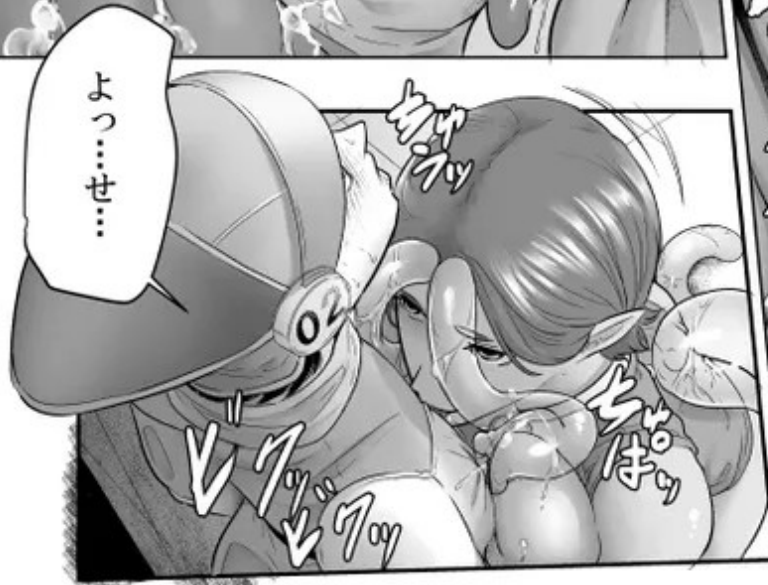
クチャッ

クチャッ

はっ
はっ

#\$%&(%)んあ
%&#あああ





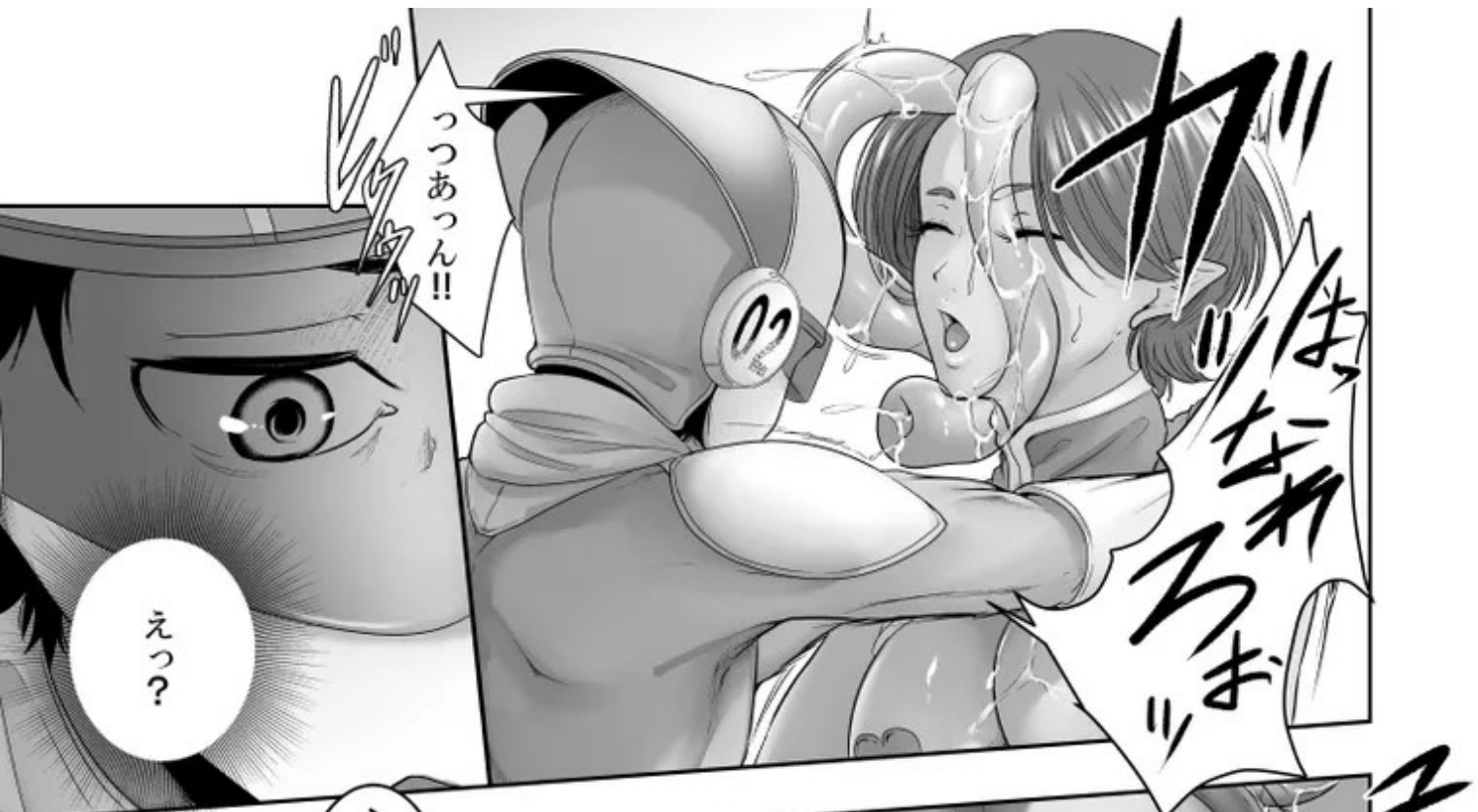
落ち着け落ち着け
落ち着け落ち着け
落ち着け落ち着け

こいつは怪人で
今も私を倒そうと…

直接舐めたら
今の比じゃないくらい
気持ちいいわよ

はぁ
はぁ

お、俺は
ヒーローなんだあツツ



つつあつん!!

ガッ
ほろろ
ろろ

えっ?



心配になくても

もう戦えるだけの
体じゃないわ!

ムラッ...



私はただ...最後に
気持ちよくなりたいの

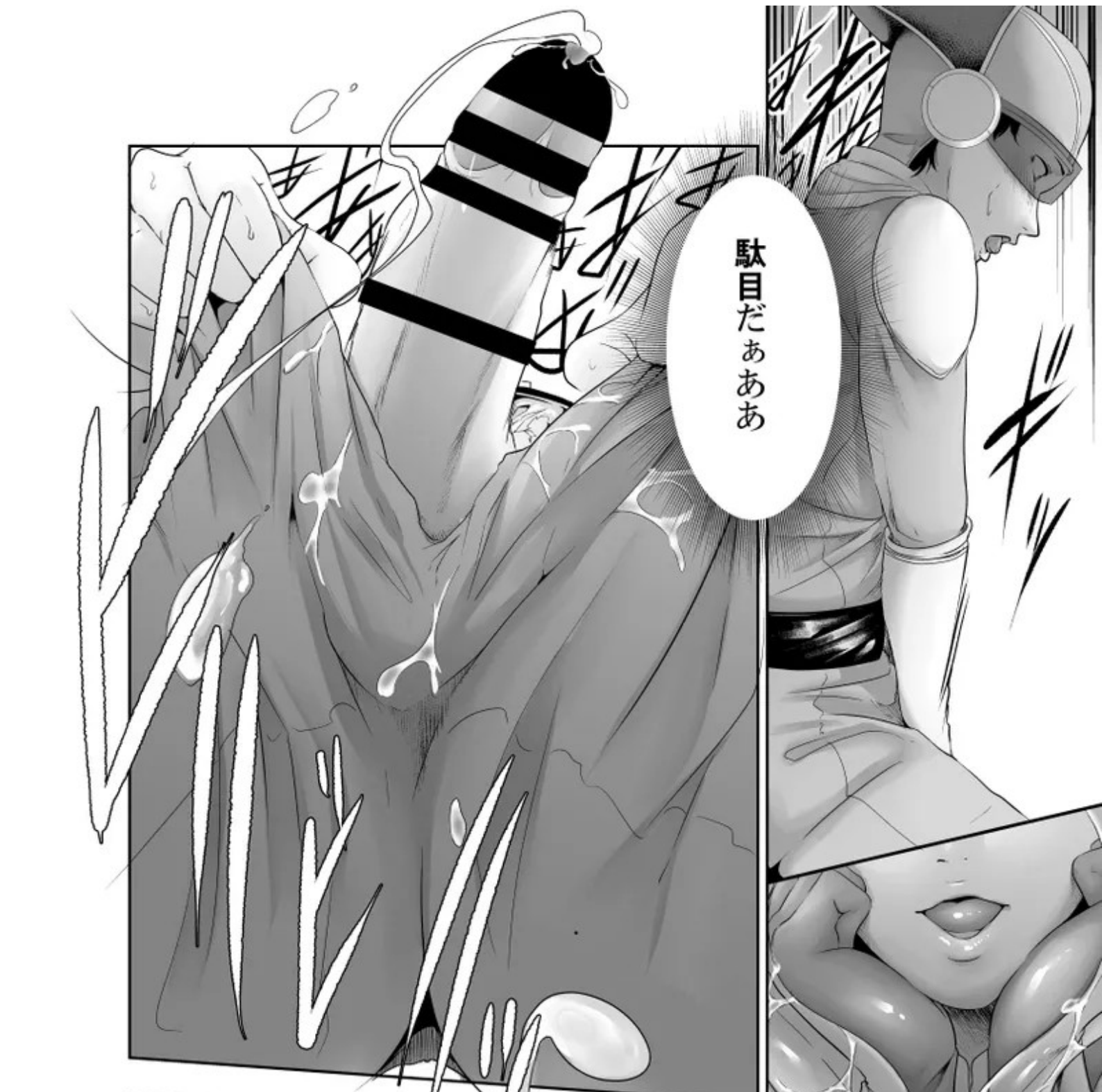
惑わすんじゃ
ないッ

やめろ
やめろッ

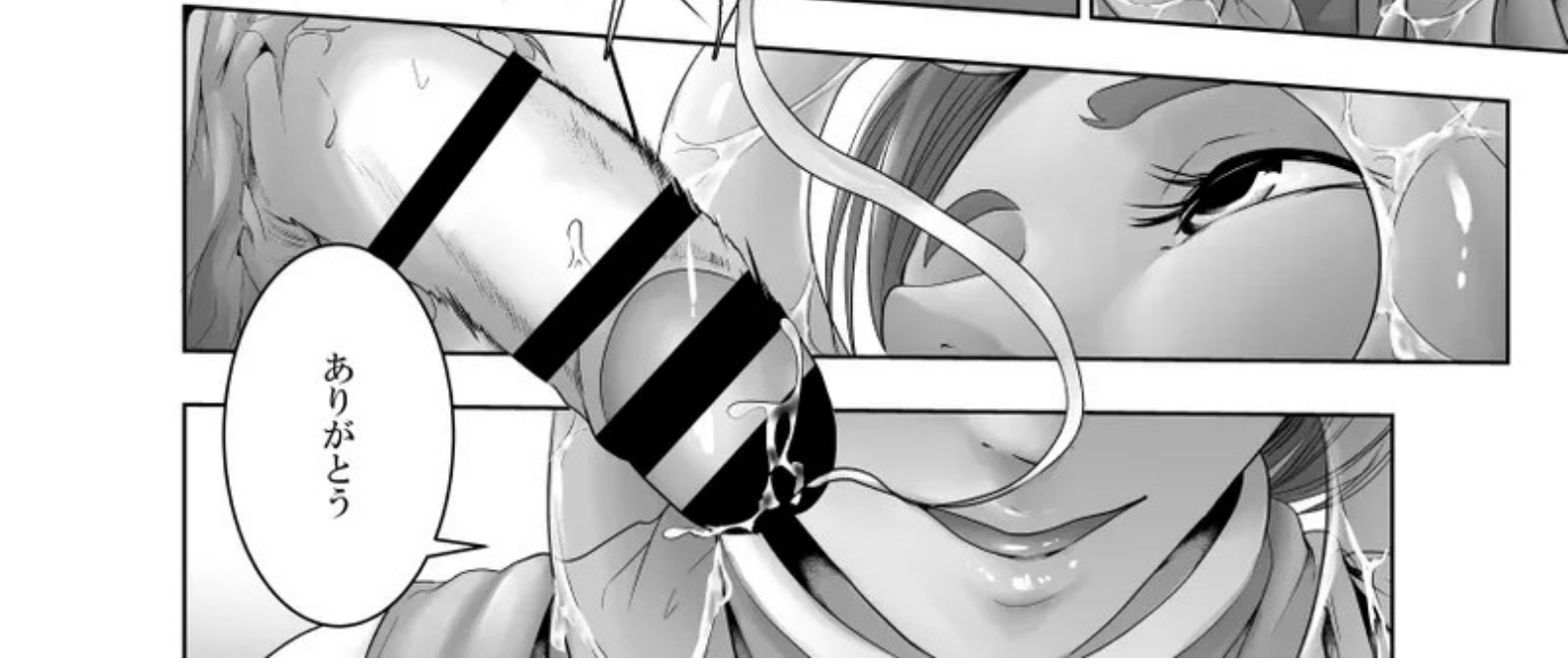
あゝん♡

ムラッ

ムラッ

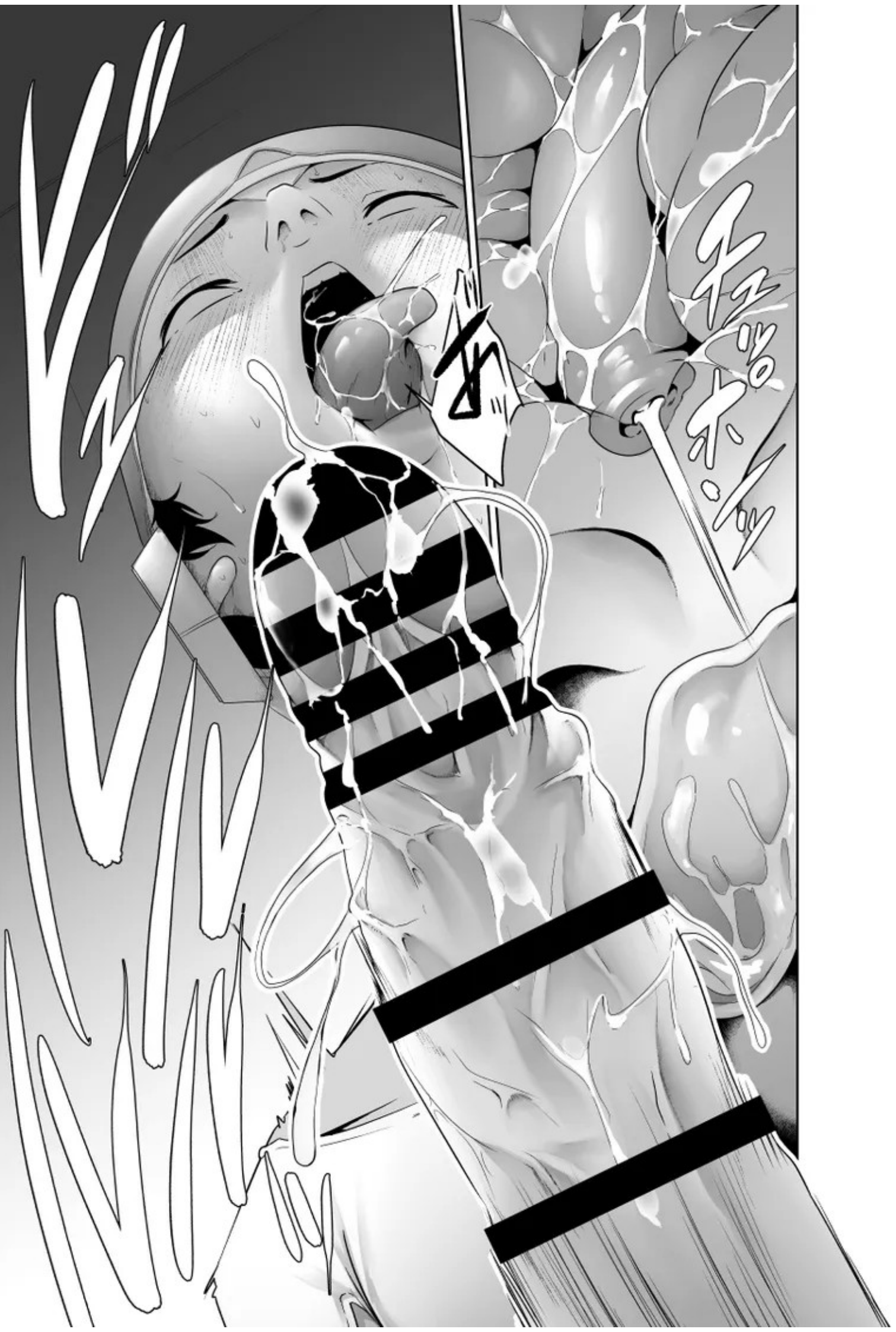


駄目だあああ



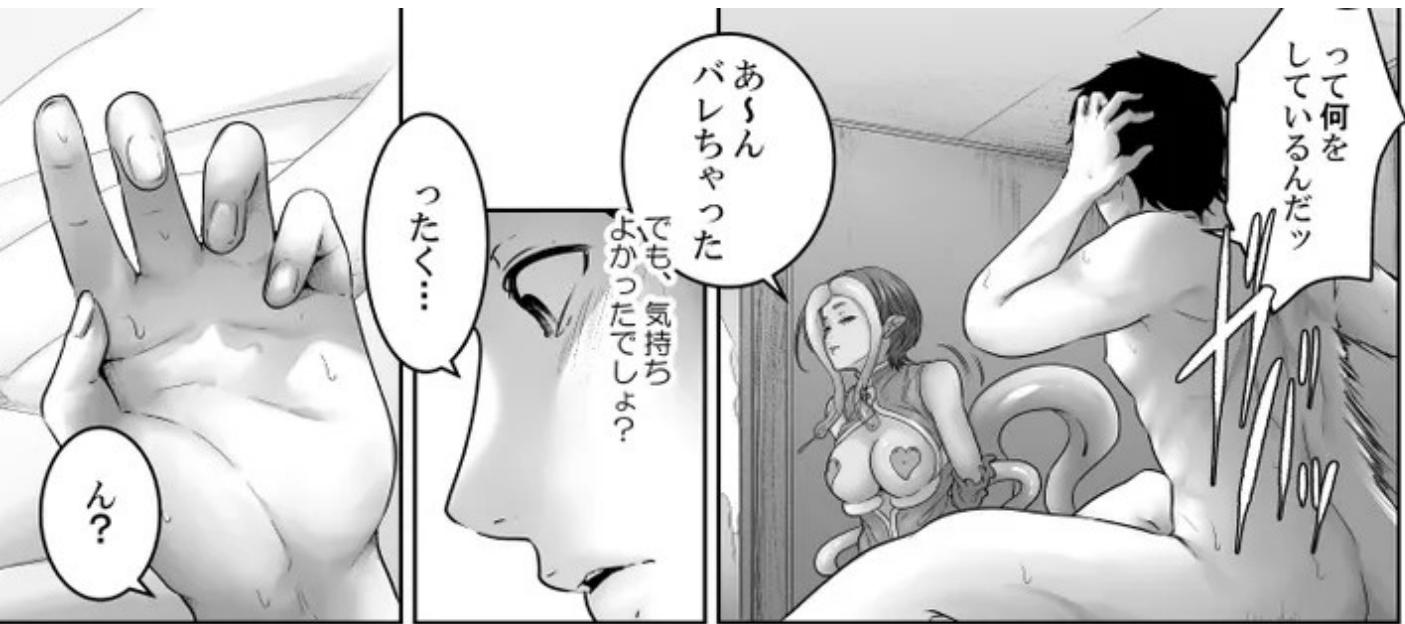
ありがとう

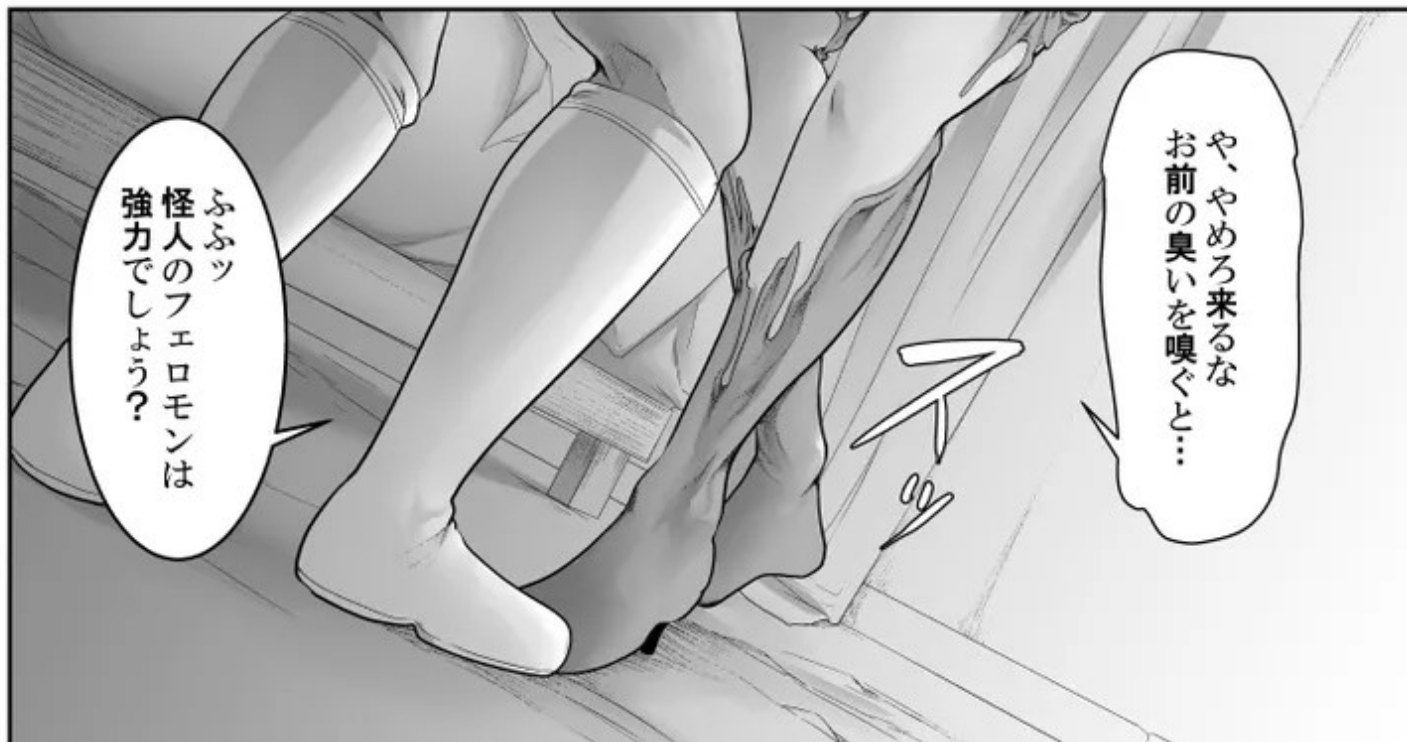
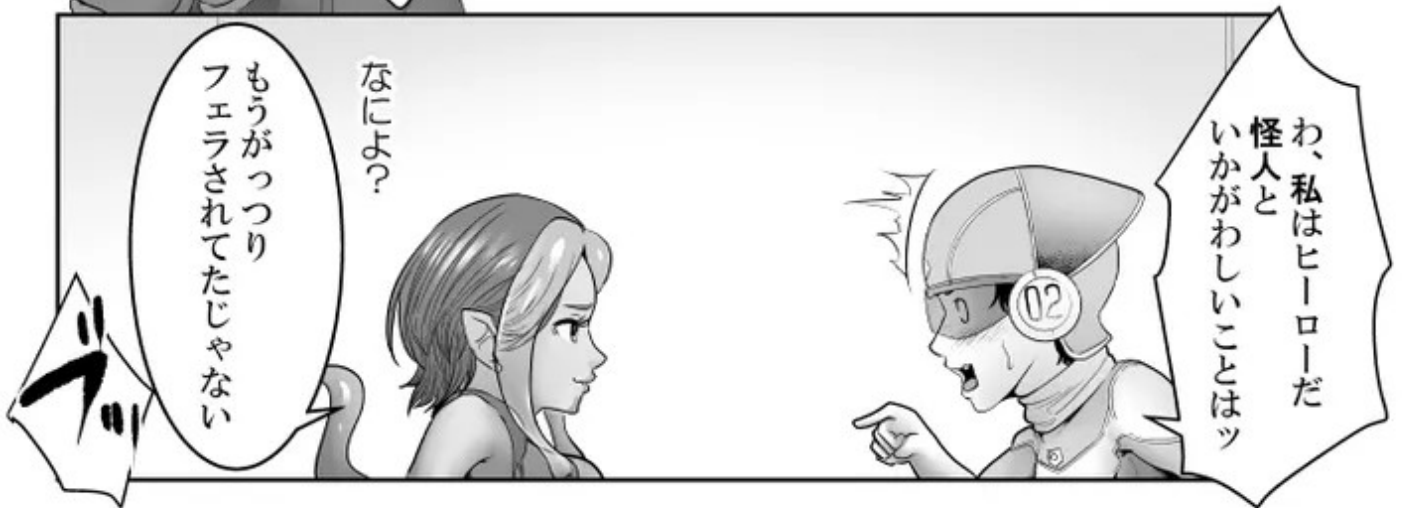












だからブルーこれは
仕方がないことなのよ

貴方は悪くない…

はぁ
はぁッ

わるく…ない……

ひびき

わんわん
わんわん
わんわん

わんわん

たとえヒーローでも
あれだけ触れ続けたら…

んっっっ

体が生殖活動を
求めてしまうもの





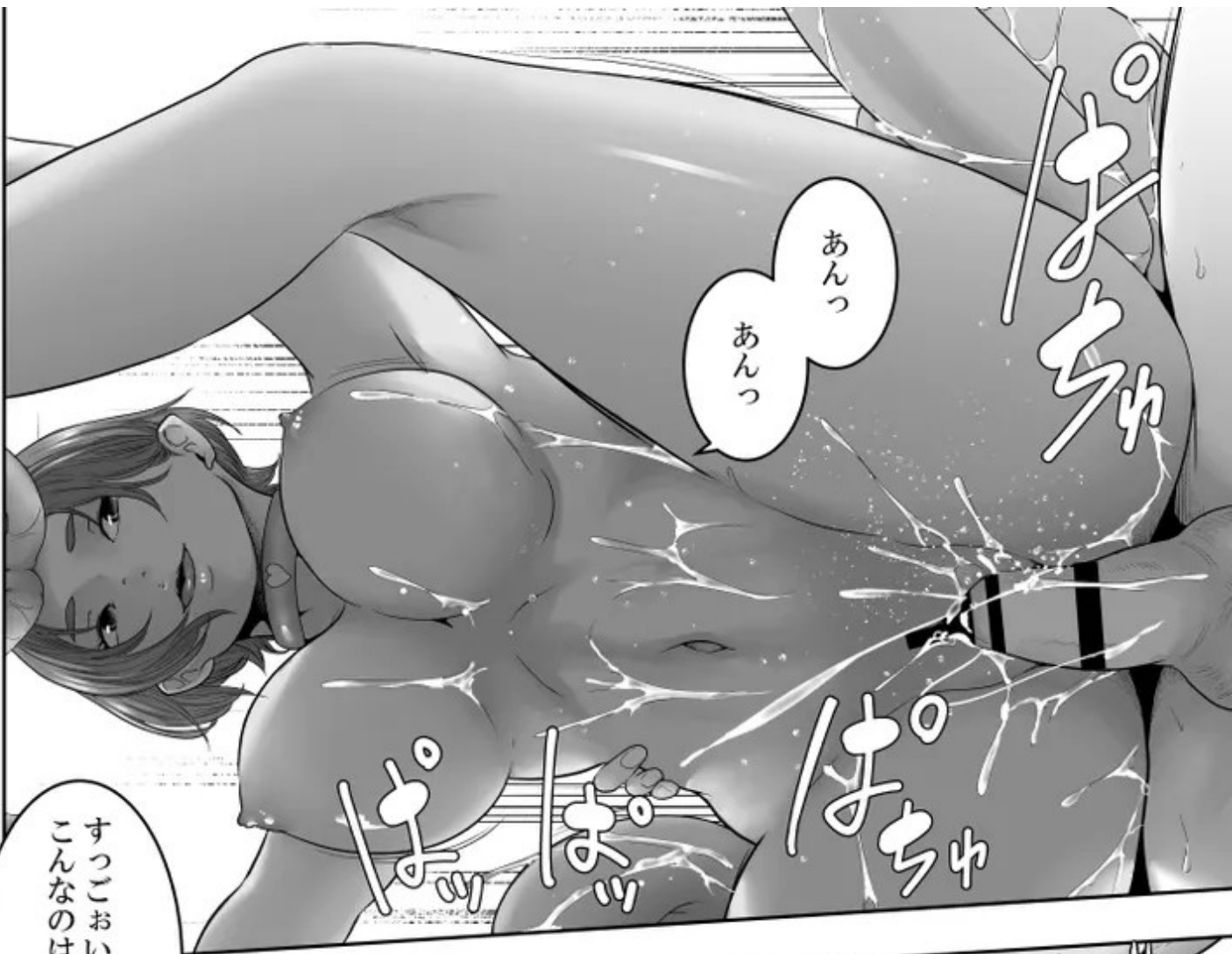
ああ…駄目なのに

はっ…

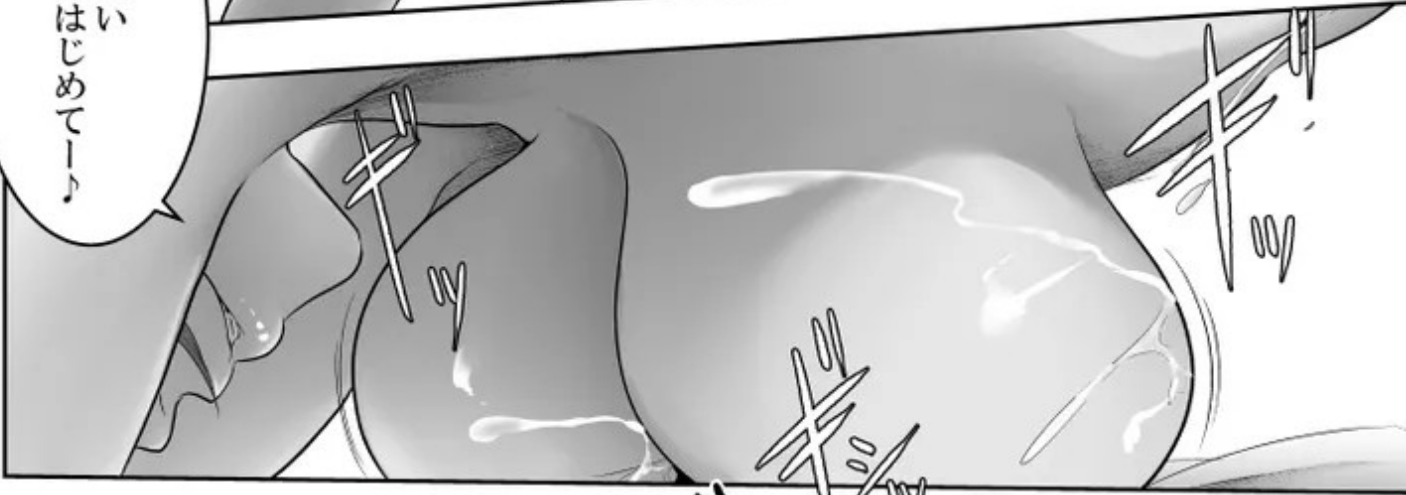
はあっ

出し入れする度に
こいつから目が
離せなくなっていく…

勃起が
収まらないッツ



すっこおい
こんなのはじめてー♪











あんツ♥

びしょ濡れ
びしょ濡れ
びしょ濡れ

びしょ濡れ
びしょ濡れ
びしょ濡れ





もーっと
ちょうだあい♥

ああん……
……すこおい



ジュジュジュジュ

すごく
おいしかったわ

ありがとうフルー！

おいしい

怪人がどれだけ暴れても
毎度ヒーローに
同じように倒される

そんな生活に
私は辟易していた

超人の彼らに真正面から
戦っても勝ち目はない
だから私は彼の誘惑し
調査する機会を欲した

※フルー気絶中
ホテルにて

データの収集は
順調に進み

私は彼らヒーローの
抗体に注目した

「ヒーロー抗体(仮名)」は
まさに英雄が英雄たる所以

それは、自分自身を
常に正常な状態に戻す
自己修復能力を持っていた

故にスライム分体での
洗脳では一時的な
効果しか得られない

そこで私は、抗体の性質
そのものを利用できないか
策を巡らせることにした

ヒーロー因子との適合率
68...%



結論として
私は、自身の体を
ヒーロー細胞と
同化させた



融合率は
どうだった？

は、はい
規定値95%を
クリアしました

これで、分体を産み付けても
それ含めて正常な体として
判断されるはず…

悪くない…



※触覚的刺激



指示した誘惑作戦は
どうなってる？

じゅ、順調です
かなり溜まってきて
いると推察できます



※嗅覚的刺激



くそっどうして
怪人がこんな

キリがないわッ



それじゃ早速
仕掛けに行きましようか



はまッ

何を...

はまッ

言ッて...

はまッ



ブルー...
私が誰か分かる?



エツチなのは
相変わらずなのね

!?ッ





だいじょーぶ
落ち着いて...

いきがっつ

呼吸は
できるはずよ



ゆっくり...
...少しずつ

飲み込んで...

ゴクン...



始めましょ

それじゃあ...

感覚が少しずつ
鋭敏に
なっていくはずよ



何だ…これ…
舌が…っあ
触れてるだけなのに…

直接性器を
弄られてるみたいだ

アキ

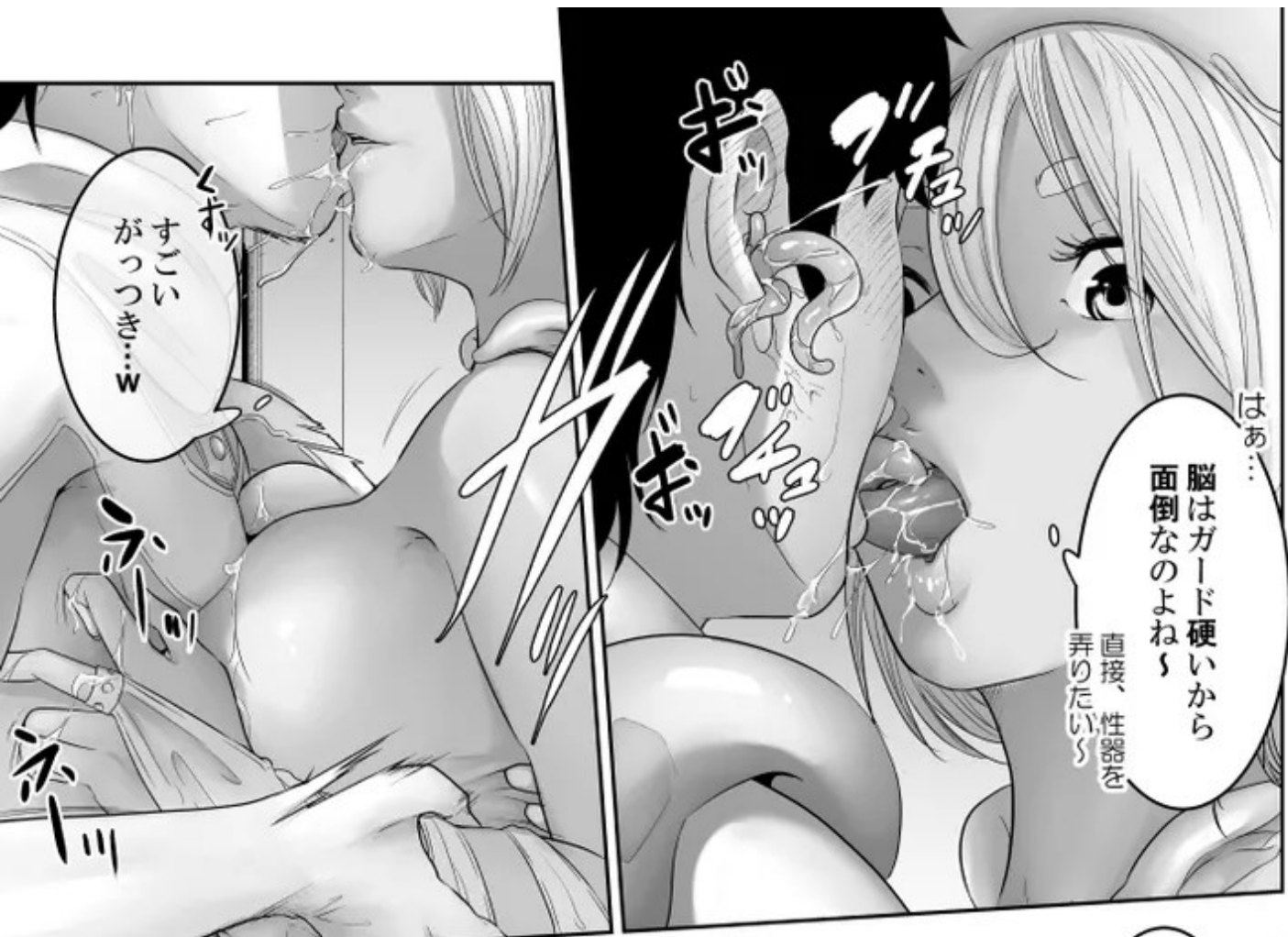


それにしても
ここまで露骨に
裏切り行為をしてるのに
変身を解かないなんて

あくまで怪人と
戦っているつもり…
なのかしら

笑っちゃう





はあ…
脳はガード硬いから
面倒なのよね
直接、性器を
弄りたい

くボッ
すごい
がつつき…w



そんなにセックス
したいなら

早く変身
解いちやえツ



♥
ツ

アハハッ
ほんと馬鹿な男…w

それじゃあ
お望み通り…



だんだん侵入
しちゃうよーん

くふふッ
体の中から
犯しつくしてあげる♥

びしょ
びしょッ

びしょ
びしょッ

びしょ
びしょッ

びしょ
びしょッ

びしょ
びしょッ
びしょ
びしょッ
びしょ
びしょッ



ああ...たまんない
これ私...

初めてヒーローを
御した怪人にッ♡

ん
おっおっおっ

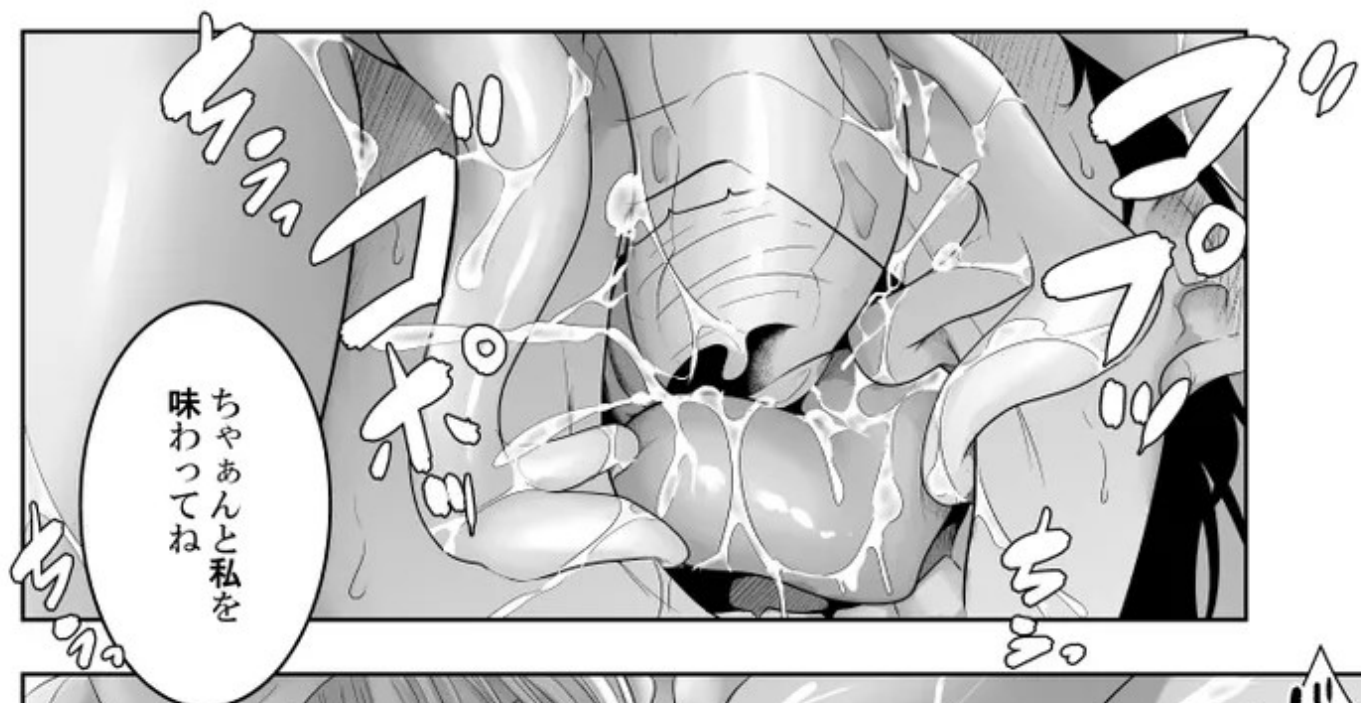
ん
おっおっおっ

ん

ん

おっ

ん









ほらブルー
こっちにおいで

私に貴方のすべてを
注いでちょうだい

あー
あー
あー

フミ...

あっあっ
あっあっ

んんッ
んんッ
んんッ

ああんッ
ああんッ



そうでもない
つきなながッ



孕ませるつもりで
全部出し切るのッ



ああっ…
すごいエネルギー…



私が全部
搾り取ってあげる

びしょ
びしょびしょ

びしょ
びしょびしょ

びしょ
びしょびしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

最近、頭に靄がかかっている感じがする。

大量の怪人が出現し、苦戦を強いられた、あの日。私は、怪人の手によってレッドたちと分断された。死に物狂いで戦って、何とか再合流した後、合体技で敵を殲滅した……。

……そう、殲滅したのだ。それは間違いない……はずなのに、違和感がぬぐえない。

■私たちヒーローは、二部制をとっていて、交互に休みながら戦闘に備えている。レッド・ピンク・ブルーのAチームとブラック・イエロー・グリーンのBチームだ。

今日は、Aチームが休みの日だ。レッドとピンクは恋仲ということもあり、ブルーの私は基本一人で休暇を楽しむ。正直、二人が羨ましいと思わなくもないが、最近、私にも異性との交流の場が増えた。故に嫉妬心はない。

今日も今日とて、私はその喫茶店に足を運ぶ。

■カラシカラシ……。ドアベルが鳴り響く。レトロな風体の喫茶店には、少し浮いた格好の女の子たちが客を迎える。

「あら、いらっしやい。また来てくれたのね……」

「ああ……ほんとは毎日来たいくらいなんだが」

「……ふふありがと。でも、ちゃんとお仕事はしないと」

「はあ……ほんときつい仕事が多くてさあー」

「安心して……いつも通り私たちが癒してあげる」

ふわっと甘い匂いが辺りを漂う。ぽよん……。客の顔が喫茶店の娘の胸に包まれる。

（あれ……ここ喫茶店だよな……）

客の体に店員たちの素肌が擦り込まれていく……。

（……なんでこんな淫らな格好して……）

「さあ、『いつもみたい』奥の部屋で、辛いことぜんぶ忘れて

気持ちよくなりましょう」

彼女たちの言葉が、客の脳内にこだまする。

（ああ……あああああ……）



Twitter: @MonochroDouzin

ファンティア:

モノクロイドの整備場

お久しぶりです……………本当に…。
ファンティアを始めて、定期的に作品を投稿できるように
なったものの、メインの作品制作がなかなか進まない……
モノクロイドです。

あとがき

ご購入済みことにありがとうございます。
いかがでしたでしょうか。
ご満足いただける内容であれば幸いです。

今回の作品は、正義のヒーローが快樂に負けてまい女怪人と性行為に及んでしまうお話です。悪に負けるシチュは背徳感がいいですよ。

元々、ファンティアにて下書き漫画として、あげていた「怪人セクキャバ」シリーズを清書、もといかなり弄った作品です。

セクキャバシリーズは、怪人が運営するセクキャバにヒーローが嵌っていくお話で、今回の話は、前日譚みたいなものです。

次回以降ですが、遊びのつもりだったのに（総集編）を描き上げる予定です。今作を短編のつもりで描いていたのに、もう11月…。描く速度は上がっているのですが、他に気になる点が出てきて、結局遅くなる…。うん、もう速さを考えるのはやめます。私は「描くのが遅い」と開き直って、納得できる形になったら販売！という形にします。

また時間が掛かるかと思いますが、気長にお待ちいただけると幸いです。

作品に関してご意見ご感想などありましたらコメントしていただけると嬉しいです。

お気軽にどうぞ。

モノクロイド

戦隊ヒーロー快樂墮ち計画

2025年11月

戦隊ヒーロー快樂墮ち計画

作者… モノクロイド

シリーズ… 怪人セクキャバ

本作品はフィクションであり
実在の人物、団体などとは関係ありません

本書の無断複写・複製・改ざん
web上へのアップロードを
禁止しています。



したいなら

男

